

画面で見るマニュアル

抵抗膜方式タッチパネル搭載15型液晶ディスプレイ
LCD-AD153SFシリーズ

[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。



設置する..... 3

パソコンとつなぐ	4
電源をオン／オフする	7
角度を調節する	8

タッチパネルを設定する.. 9

インストールする	10
タッチ操作を割り当てる(マルチディスプレイ時)	11
タッチ位置を補正する	13
端をタッチできるように設定する	14
右クリック・ダブルクリックを設定する	15
タッチ音を設定する	16

ディスプレイを設定する..... 17

設定メニューを開く	18
設定メニューの操作方法	19
音量を調節する	20
表示するパソコンを切り替える(入力切替)	21
輝度・コントラストを設定する	22
映像を調整する(アナログ)	24
メニューをロックする	27
省電力の設定をする(Windows)	28

付録..... 30

各部の名称	31
Touch tool	33
設定メニュー	39
映像調整用ソフトウェア(アナログ)	44
ネックを取り外す	45
VESA アームを取り付ける	46
用語解説	47
ハードウェア仕様	48

困ったときには 50

設置する

パソコンとつなぐ	4
電源をオン／オフする	7
角度を調節する	8

設置する
タッチパネル設定
ディスプレイ設定
付録
困ったときには

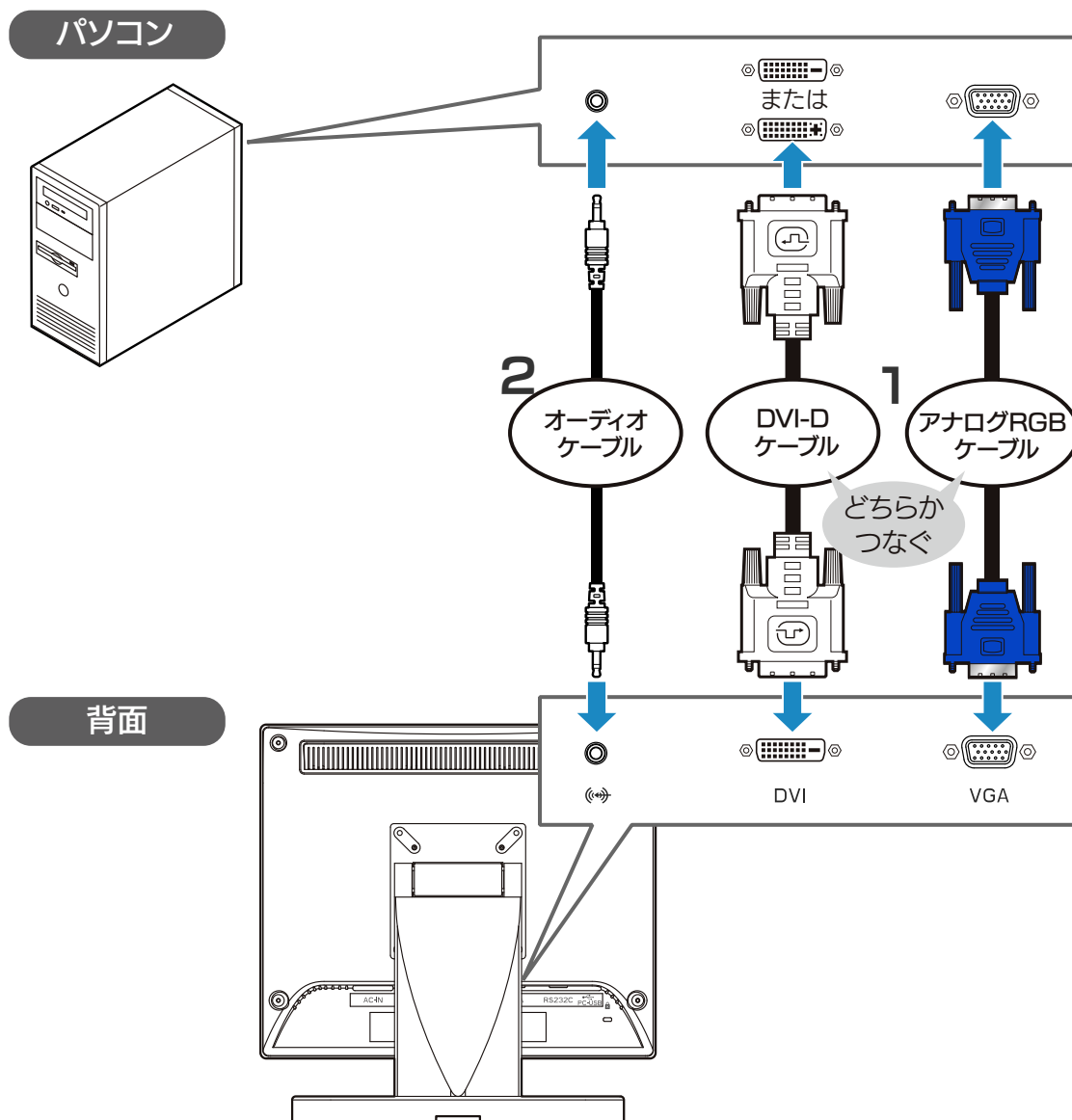
パソコンとつなぐ

1 本製品とパソコンを、映像用のケーブルでつなぐ

※パソコンにDVI端子がある場合は、DVI-Dケーブルでつなぐことをおすすめします。

※コネクタがゆるまないよう、ネジをしっかりと締めてください。

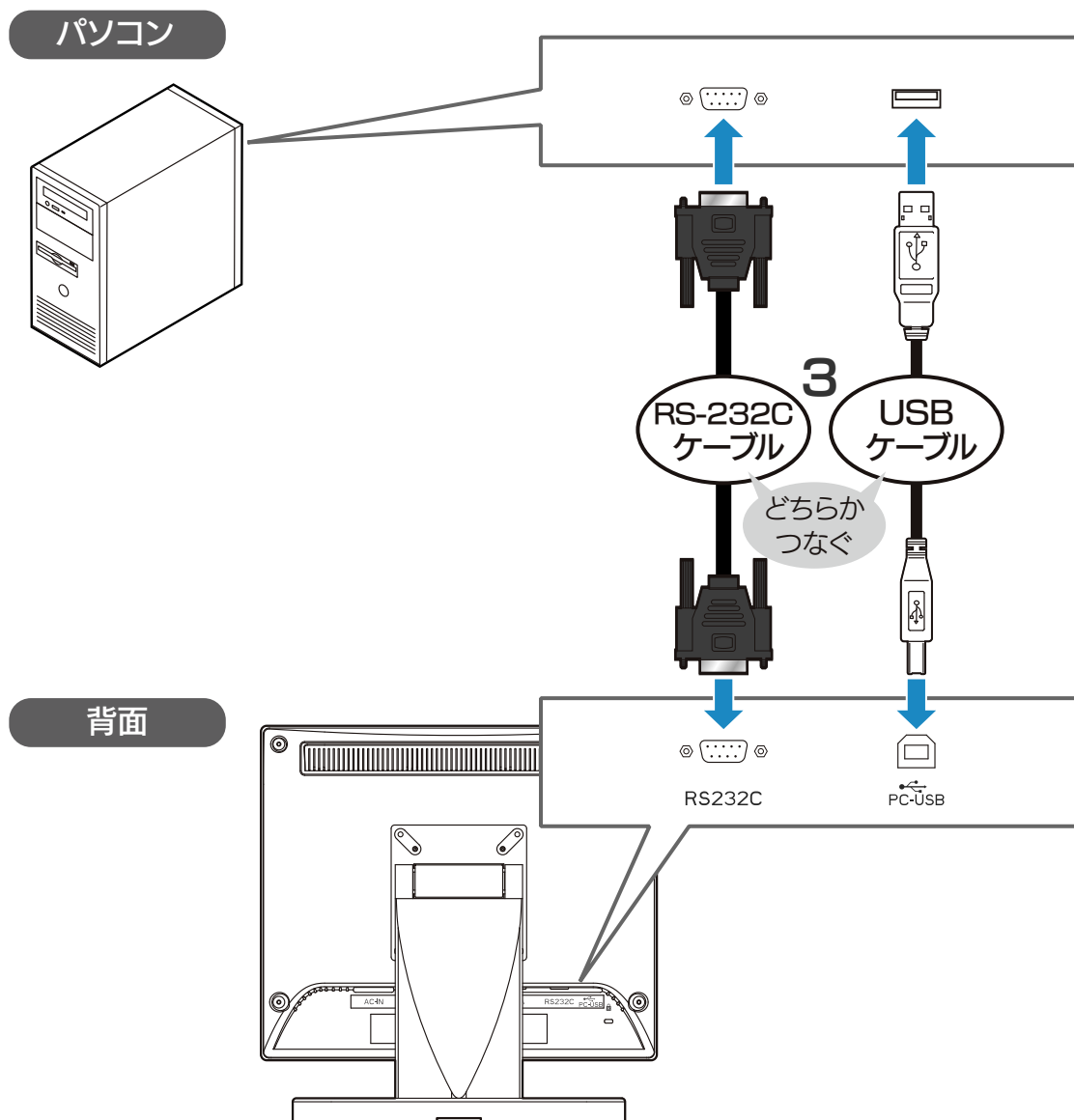
2 本製品とパソコンを、添付のオーディオケーブルでつなぐ



3 本製品とパソコンを、タッチ操作伝達用ケーブルでつなぐ

※ USBケーブルとRS-232Cケーブルを両方つながないでください。

※ RS-232Cケーブルでつなぐと、USB ケーブルと比べてネジ留めできるため、不用意な抜けを防止できます。



設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

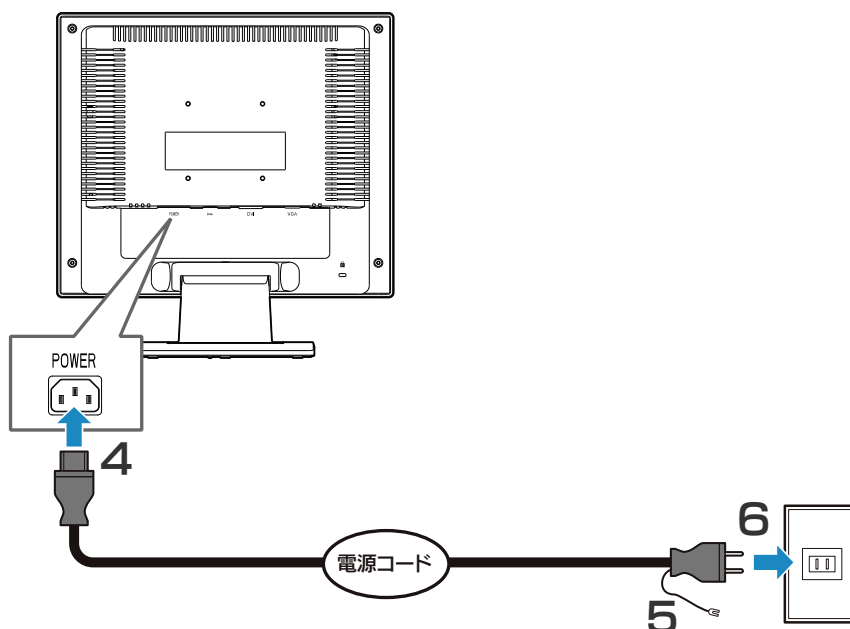
困ったときには

4 電源コードを本製品につなぐ

5 アースをつなぐ

6 電源プラグをコンセントにつなぐ

背面



ご注意：アースについては以下を守る

●必ずアースをつなぐ

アースが繋がれていない状態で万一故障した場合、感電の恐れがあります。

●電源プラグをコンセントにつなぐ前に、アースをつなぐ

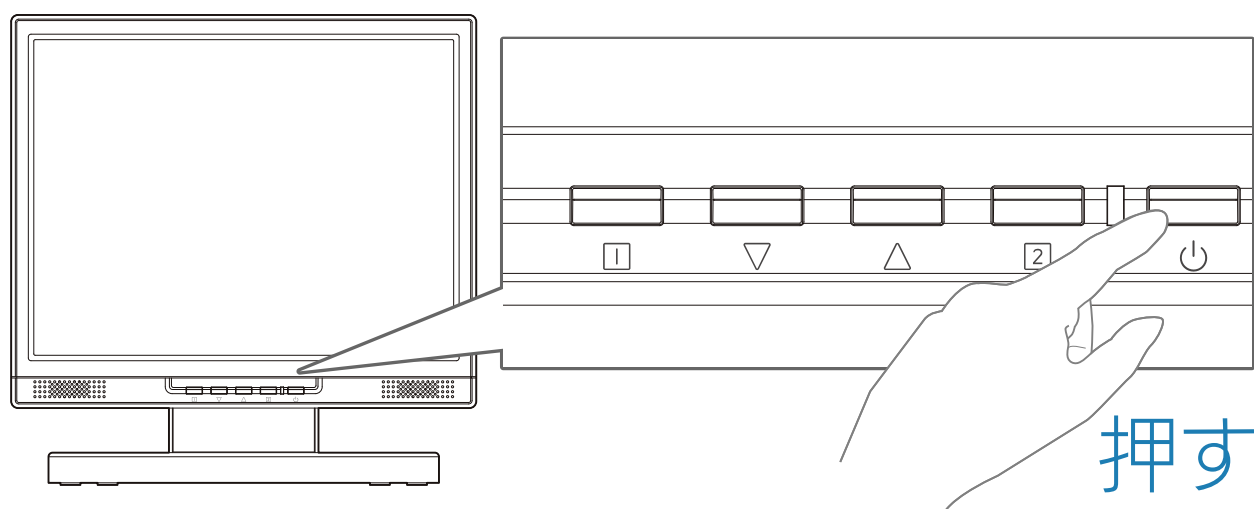
●アースを外す前に、必ず電源プラグを抜く

●アースをコンセントに挿入、接触させない

火災・感電の原因になります。

電源をオン／オフする

本製品の ⏻ を押します。



設置する

タッチパネル設定

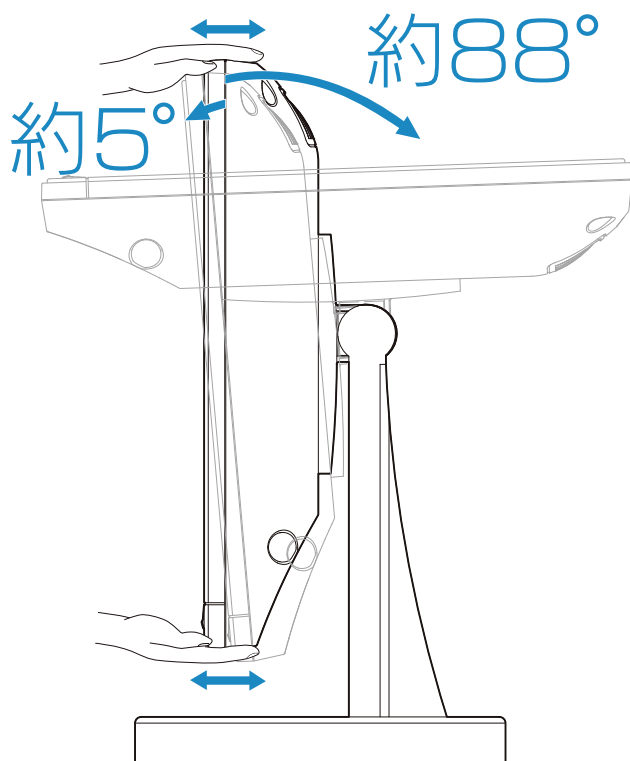
ディスプレイ設定

付録

困ったときには

角度を調節する

本製品のディスプレイ部は、前に約5°、後ろに約88°の範囲で調節してください。調節の際は、両手でフレーム部分を持ってください。



ご注意：角度の調節について

- 記載された範囲以上に倒して使わない
本製品が転倒または破損するおそれがあります。
- 調節の際は、手や指をはさまないように気をつける
- 調整の際は、ケーブルをはさまない・ケーブルや端子に無理な力が掛からないようにする
ケーブルが抜けたり、ケーブルや液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。

タッチパネルを設定する

インストールする	10
タッチ操作を割り当てる(マルチディスプレイ時)	11
タッチ位置を補正する	13
端をタッチできるように設定する	14
右クリック・ダブルクリックを設定する	15
タッチ音を設定する	16

設置する

タッチ
パネル
設定

ディス
プレイ
設定

付録

困った
ときには

インストールする

タッチパネルドライバーと設定ツールをインストールします。

タッチパネルドライバーの対応 OS

日本語版 Windows 8.1 (32ビット/64ビット)

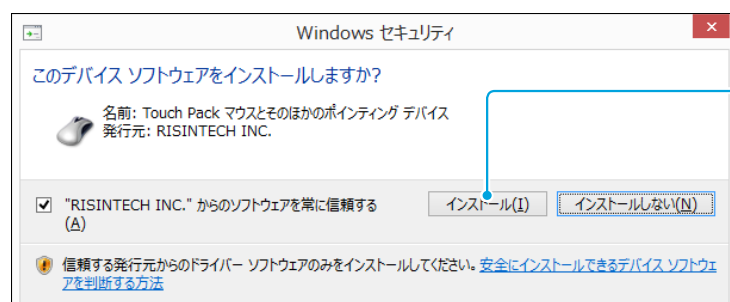
日本語版 Windows 8 (32ビット/64ビット)

日本語版 Windows 7 (32ビット/64ビット)

- 1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 CD-ROM内の[Setup.exe] を実行する
- 3 画面の指示にしたがって、インストールする



Windows セキュリティー画面が表示された場合



クリック

これでインストールは完了です。
デスクトップに「Touch tool」アイコンが表示されています。
これを実行することで、設定ツールを起動できます。



タッチ操作を割り当てる(マルチディスプレイ時)

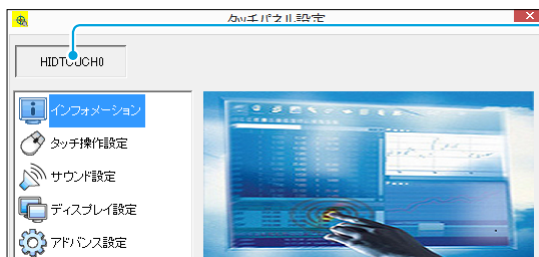
複数のディスプレイを使っている場合、タッチ操作がどのディスプレイのものか割り当てる必要があります。

1 [Touch tool] を実行する



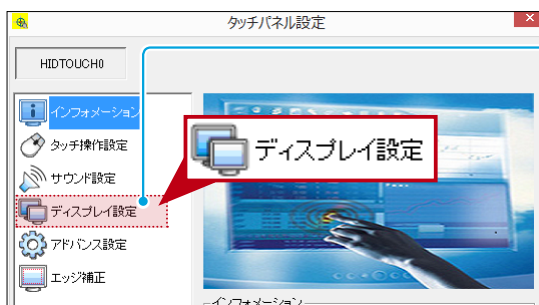
Touch tool

2



本製品を複数使っている場合は、
ここで切り換える
※ 複数のボタンが表示されます。

3

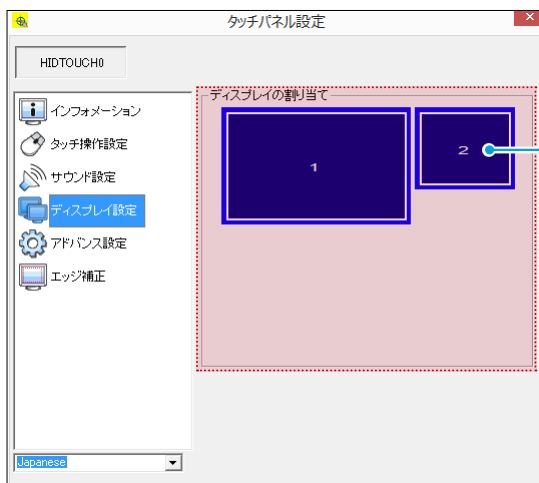


クリック

【ディスプレイ設定】がない

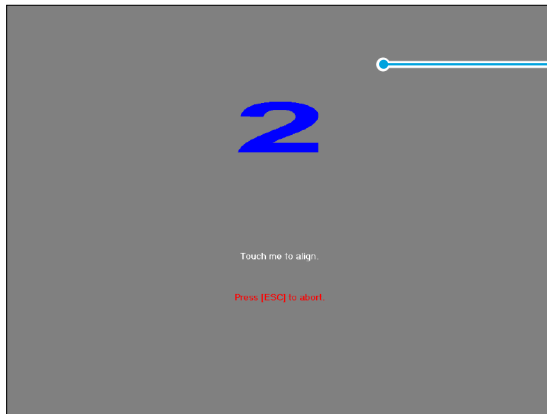
【インストールする】(10ページ) を
ご覧になり、再度インストールしてくだ
さい。その際、「複数のタッチパネルを接
続する場合は、このオプションにチェッ
クしてください」と表示されたら、チェッ
クしてください。

4



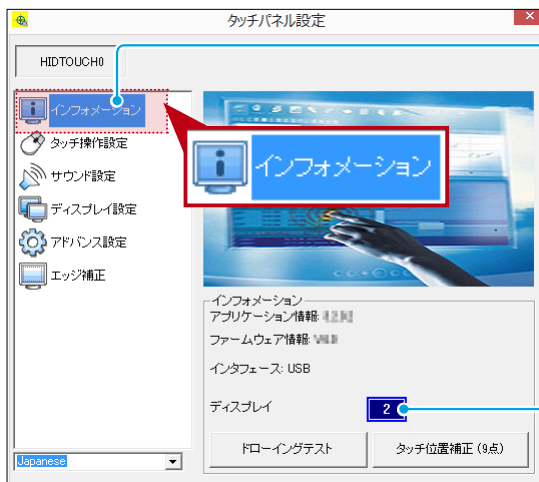
本製品と思われるディスプレイを
クリック

5



本製品にこの画面が表示されたことを確認し、本製品をタッチ

6



① クリック

② ディスプレイが設定した数字になっていることを確認

7

本製品が複数ある場合は、手順2からもう一度設定する

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

タッチ位置を補正する

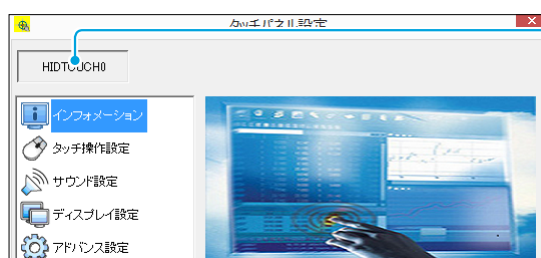
タッチ位置がずれる場合、指示に従ってタッチ位置を補正します。

1 [Touch tool] を実行する



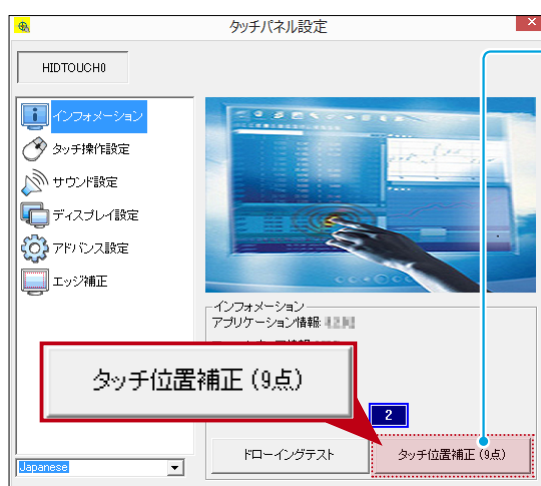
Touch tool

2



本製品を複数使っている場合は、
ここで切り換える
※ 複数のボタンが表示されます。

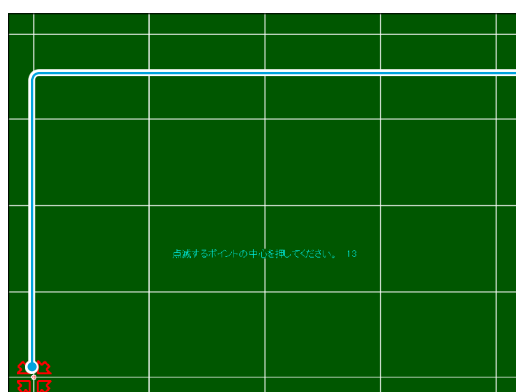
3



クリック

もっとかんたん／詳細に位置補正したい
[アドバンス設定] の[タッチ位置補正]
で[(4点)] または [(25点)] をクリック
してください。

4



指示されたポイントをしばらく押
す操作を繰り返して補正する

補正画面が本製品以外に表示された
【[タッチ操作を割り当てる\(マルチディスプレイ時\)](#)】(11 ページ) をご覧になり、
ディスプレイに割り当ててください。

補正具合を確認したい
[インフォメーション] にある[ドローイングテスト] をクリックし、ご確認ください。

端をタッチできるように設定する

画面の端をタッチしづらい場合、ディスプレイ端付近のタッチ位置に補正をかけられます。画面の端をタッチしやすくなります。

1 [Touch tool] を実行する



Touch tool

2



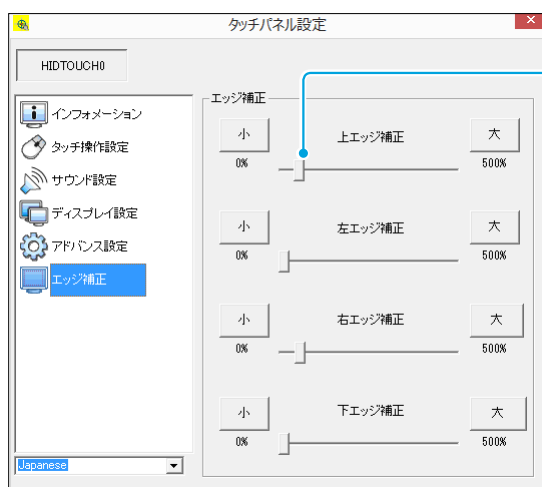
本製品を複数使っている場合は、
ここで切り換える
※ 複数のボタンが表示されます。

3



クリック

4



上下左右のエッジ(端) の補正を設定する

※ 補正を大きくするほど、ディスプレイ
端付近のタッチ位置が実際押した
位置よりも端へと補正されます。

右クリック・ダブルクリックを設定する

右クリックメニューが表示されるまでの長押し時間を設定します。
また、ダブルクリックのタップ間隔・範囲を設定します。

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

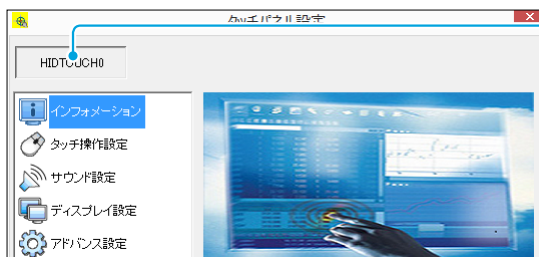
困ったときには

1 [Touch tool] を実行する



Touch tool

2



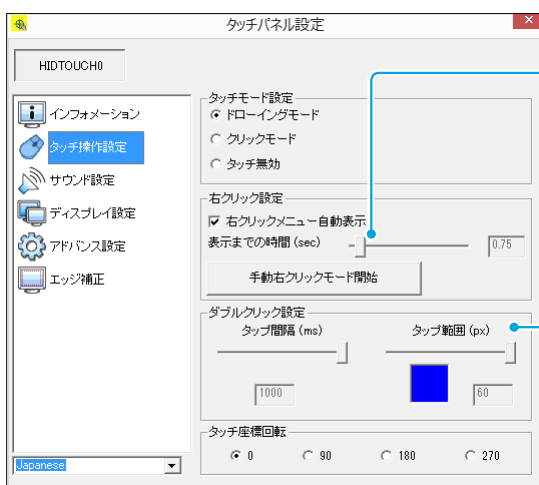
本製品を複数使っている場合は、
ここで切り換える
※ 複数のボタンが表示されます。

3



クリック

4



① 右クリックメニュー表示までの
秒数を設定する

② ダブルクリックとして認識する
タップ間隔・範囲を設定
※ タップ間隔：ダブルクリックとして
認識する間隔を設定
タップ範囲：ダブルクリックとして
認識する2回のタップ
の範囲を設定

タッチ音を設定する

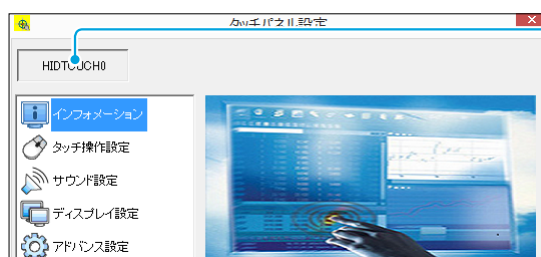
タッチした際の音を設定します。

1 [Touch tool] を実行する



Touch tool

2



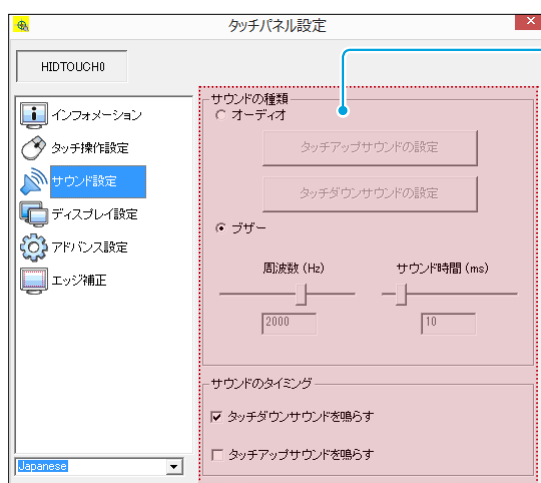
本製品を複数使っている場合は、
ここで切り換える
※ 複数のボタンが表示されます。

3



クリック

4



タッチ音について設定する

- ※ オーディオ：wavファイルでタッチ音を設定できる
- ブザー：ブザーの音(周波数)となる時間を設定できる
- ※ タッチダウン：画面にタッチした際
- タッチアップ：画面から手を離れた際

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

ディスプレイを設定する

設定メニューを開く	18
設定メニューの操作方法	19
音量を調節する	20
表示するパソコンを切り替える(入力切替)	21
輝度・コントラストを設定する	22
映像を調整する(アナログ)	24
メニューをロックする	27
省電力の設定をする(Windows)	28

設置する

タッチ
パネル
設定

ディス
プレイ
設定

付
録

困
った
とき
には

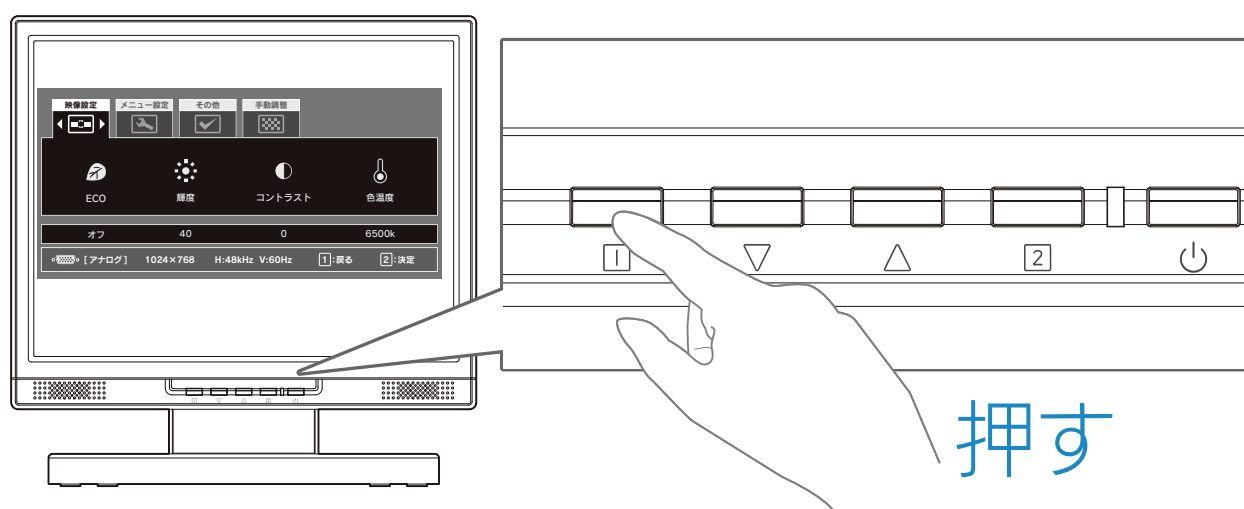
設定メニューを開く

設定メニューとは、本製品の色々な設定をするためのメニューです。
通常の開き方に加え、一部機能の設定を直接開くこともできます。

設定メニューを開く

□を押します。

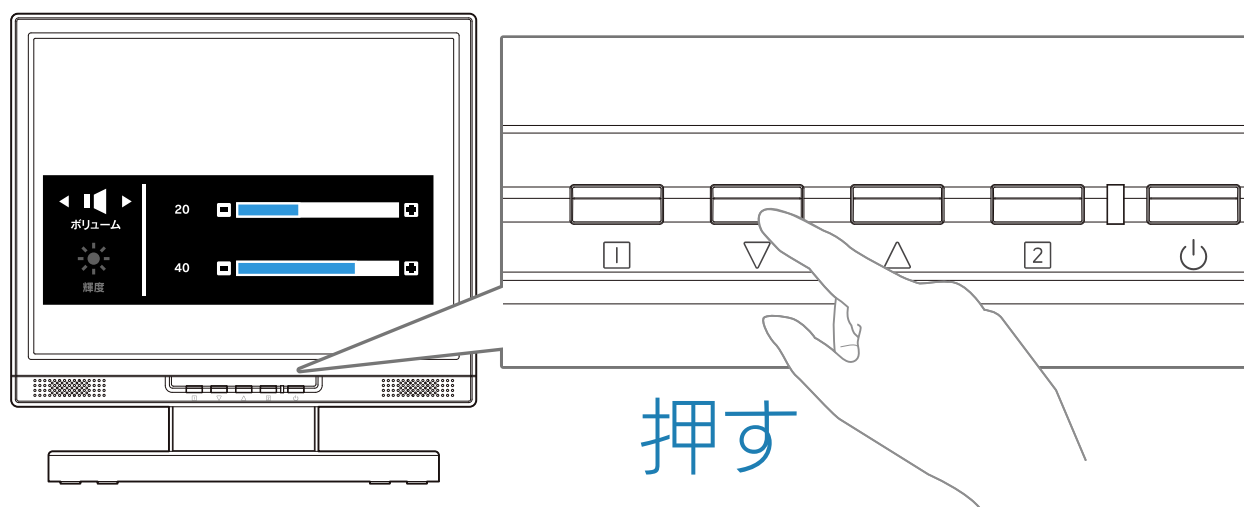
⇒【設定メニューの操作方法】(19ページ) 参照



音量・輝度を開く

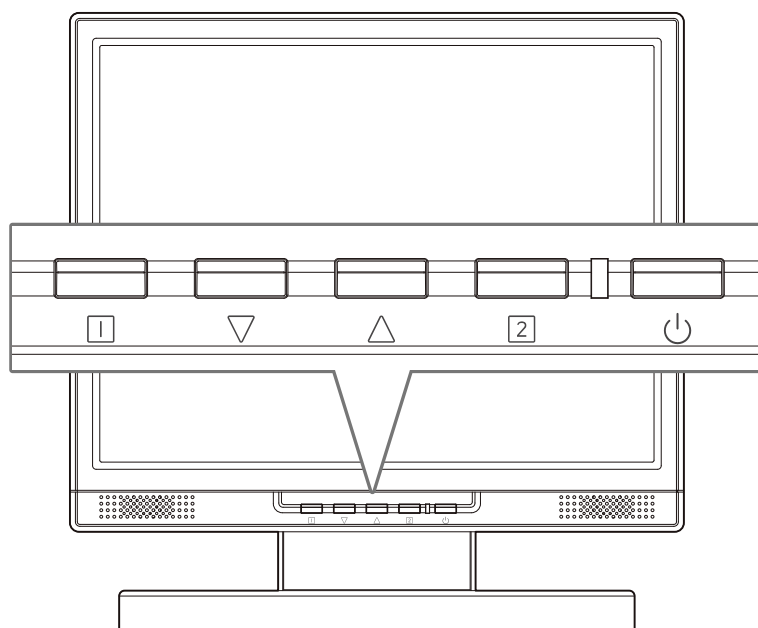
▽を押します。

⇒【音量を調節する】(20ページ) 参照



設定メニューの操作方法

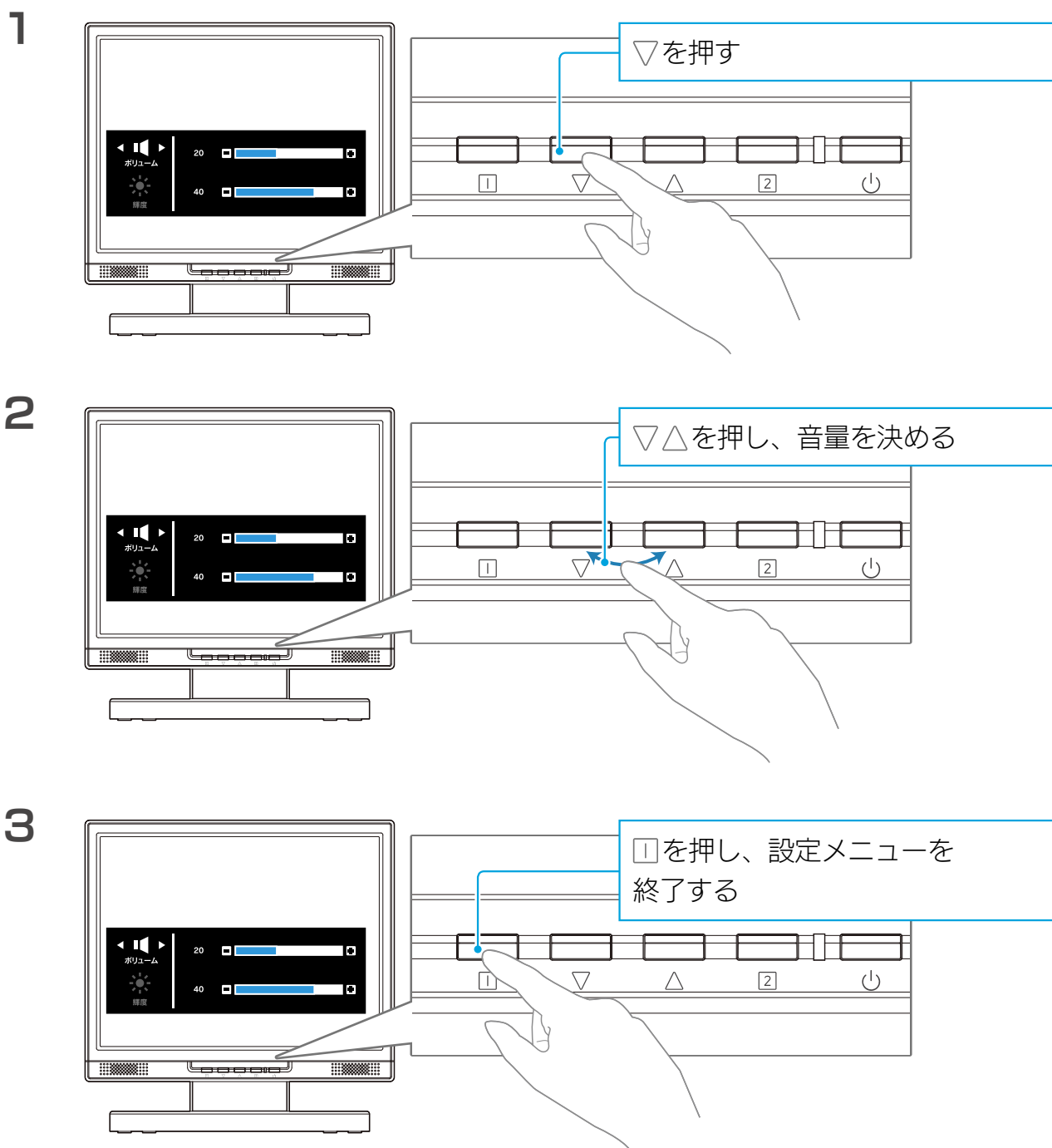
設定メニューの操作には、各ボタンを使います。



設定メニューを表示する	1を押す
選択カーソルを移動する	▽△を押す
選んだ項目を決定	2を押す
キャンセル／1つ戻る	1を押す(戻れない時は設定メニューを閉じる)
設定値を増減する	▽△を押す

音量を調節する

本製品に音声を入力している場合、本製品のスピーカーから音を出すことができます。



設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

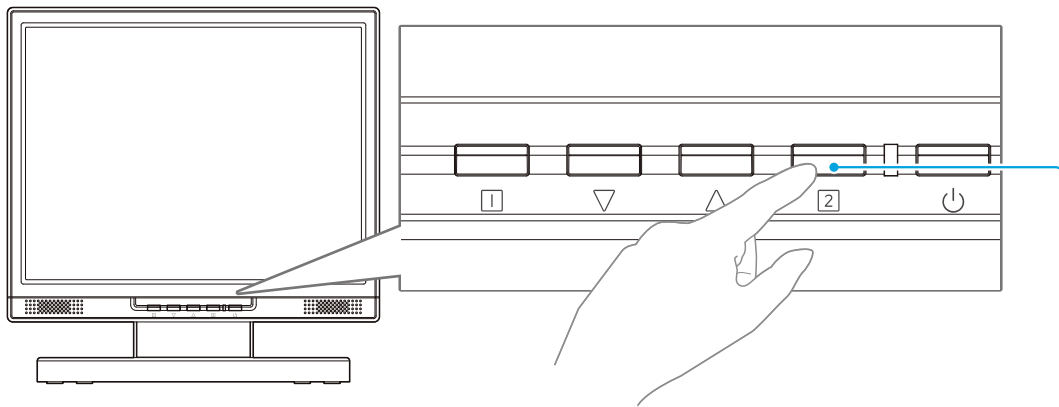
困ったときには

スピーカーから音が出ない

- パソコンの音声出力と本製品の (10) をオーディオケーブルでつないでください。
- パソコン側の音量設定を確認してください。

表示するパソコンを切り替える (入力切替)

本製品に2台のパソコンをつないでいる場合、表示するパソコンを切り替えられます。



②を押す
⇒ もう1台のパソコンの映像が表示されます

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

輝度・コントラストを設定する

本製品の表示を調節します。

輝度	画面の明るさを調節できます。 画面が暗い場合などに調節します。
コントラスト	画面の明暗比を調節できます。 画面が白飛びしていたり、メリハリが欲しい場合などに調節します。

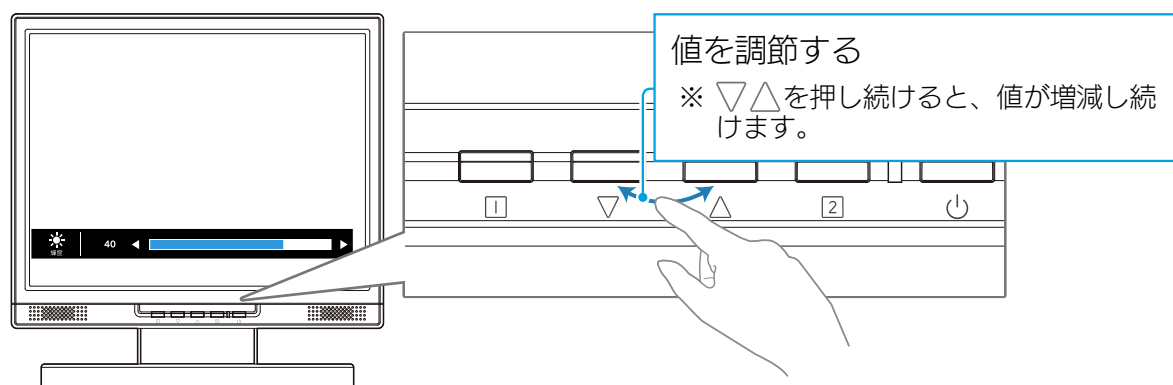
- 1

1を押す
⇒ 設定メニューが表示される
- 2

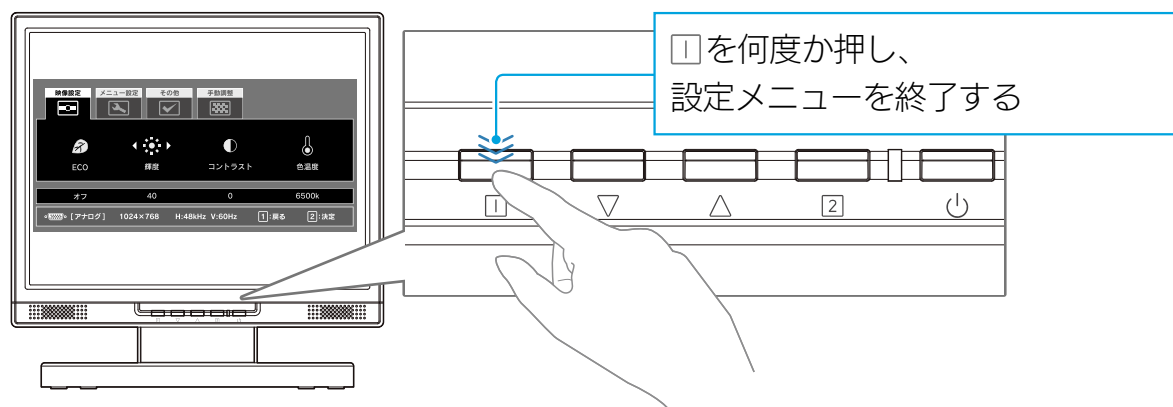
[映像設定] を選ぶ
- 3

[輝度] や [コントラスト] を選ぶ

4



5

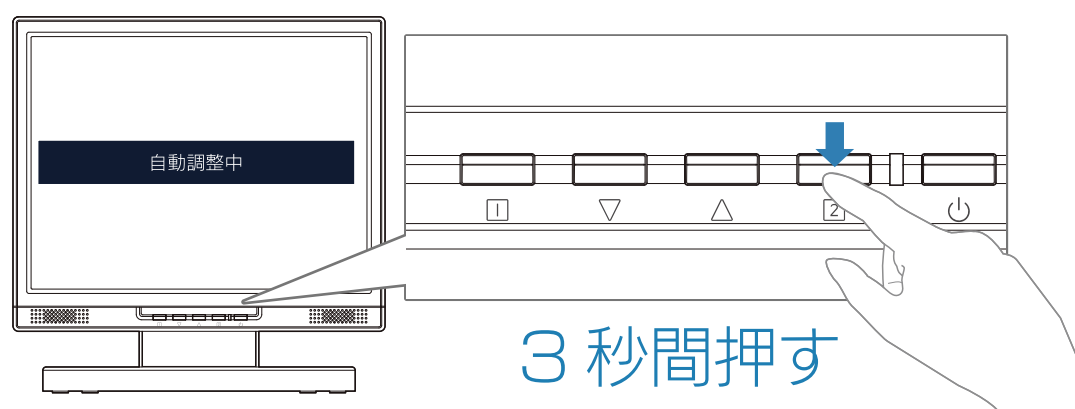


映像を調整する (アナログ)

パソコンをアナログ(VGA) 入力している環境で、表示に「にじみ」や「ちらつき」がある場合にお試しください。

自動で調整する

②を**3秒間**押し続けます。
⇒自動で映像が調整されます。



手動で調整する

自動調整で状態が改善されない場合は、手動で調整することにより状況が改善することがあります。

より効果的に調整するには

「LCD 調整ユーティリティ」を使うと、調整用画面を表示し、効果的に調整ができます。

【映像調整用ソフトウェア(アナログ)】(44ページ) 参照

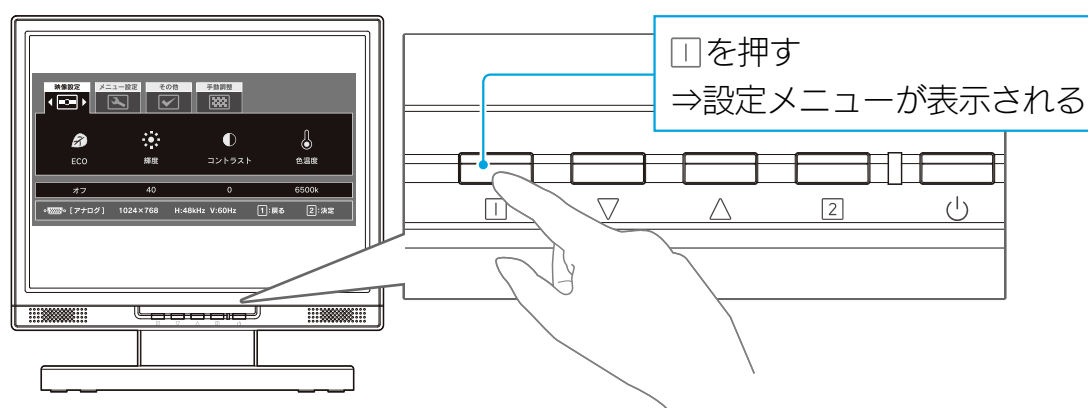
調整する内容

ちょうど画面内に映像が収まるように、画面の表示幅(サイズ)と表示位置(水平位置、垂直位置)を調整します。

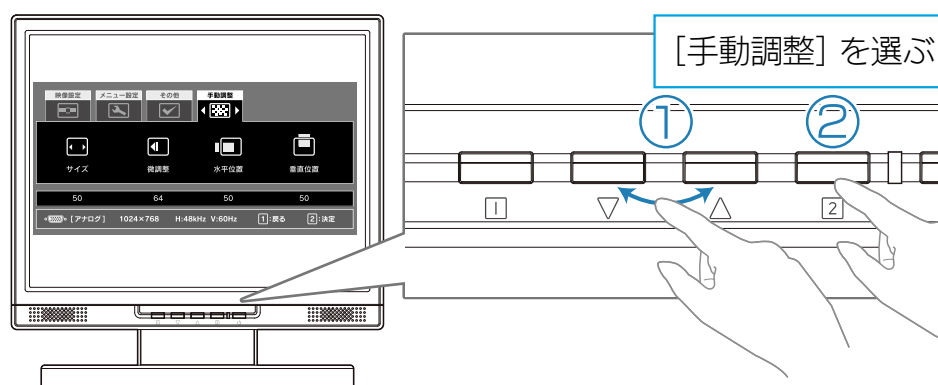
また、「微調整」で鮮明度(ノイズ除去)を調整します。

調整の方法

1



2



設置する

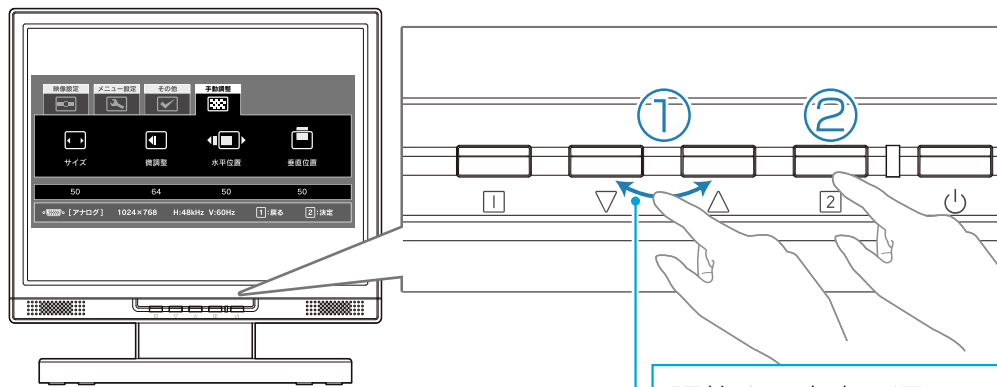
タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

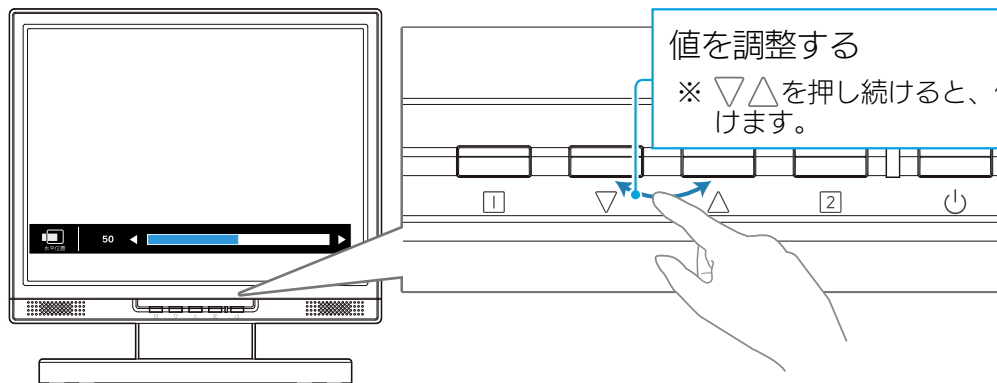
3



調整する内容を選ぶ

サイズ	画面の水平幅
微調整	画面ノイズを低減
水平位置	画面の水平方向の位置
垂直位置	画面の垂直方向の位置

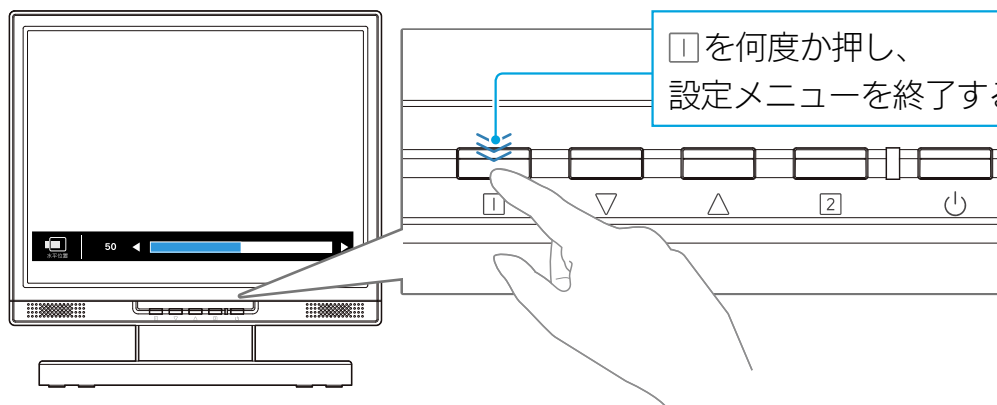
4



値を調整する

※ ▽△を押し続けると、値が増減し続けます。

5



□を何度か押し、
設定メニューを終了する

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

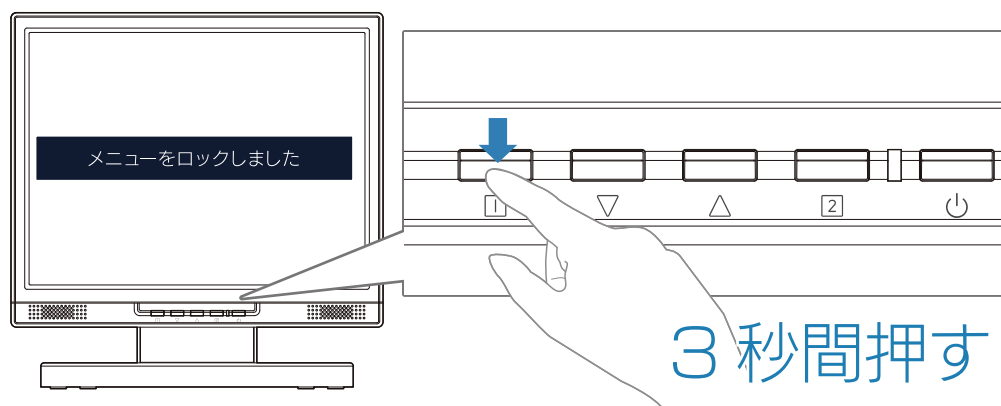
メニューをロックする

設定した項目を変えたくない場合など、設定メニューを表示しないようにできます。

□ マークを**3秒間**押し続けます。

⇒「メニューをロックしました」と表示され、ロックされます。

ロックを解除するときも、同じ操作です。



設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

省電力の設定をする (Windows)

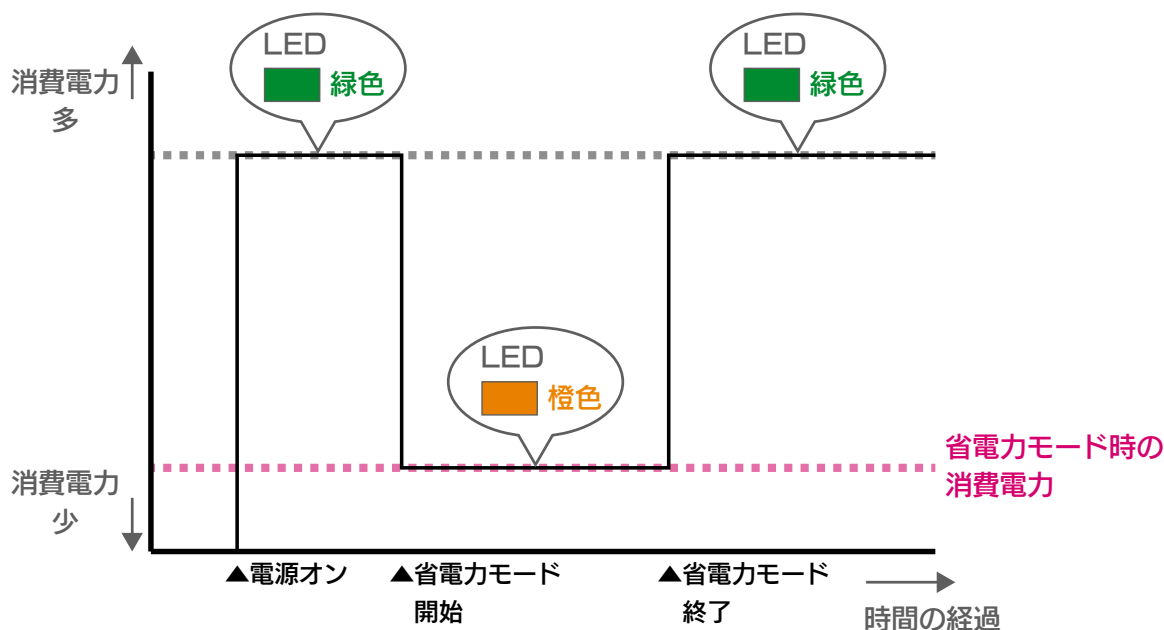
パソコンの省電力モードを働かせるためには、お使いのWindowsにあった設定をしてください。

※ 省電力モードを働かせるためには、グラフィックアクセラレータボードがVESA DPM規格に対応している必要があります。

▶ Windows 8/7 の場合	29
▶ Windows Vista の場合	29

本製品の省電力の流れ

グラフィックボードから出力される信号の変化を検出して、省電力モードに移行したり、復帰したりします。



省電力モードとは

一定時間パソコンを操作しなかった場合やパソコンの電源を切った場合に、自動的にディスプレイの消費電力を抑える機能のことです。

省電力モード時には、画面が真暗になります。

Windows 8/7 の場合

設置する

タッチ
パネル
設定ディス
プレイ
設定付
録困
った
とき
には

- 1 (Windows 8のみ) デスクトップモードにする
- 2 デスクトップを右クリックし、表示されたメニューの[個人設定] をクリック
- 3 [スクリーンセーバー] → [電源設定の変更] の順にクリック
- 4 [バランス] か [省電力] を選び、その横の[プラン設定の変更] をクリック
- 5 [変更の保存] をクリック

Windows Vista の場合

- 1 デスクトップを右クリックし、表示されたメニューの[個人設定] をクリック
- 2 [スクリーンセーバー] → [電源設定の変更] の順にクリック
- 3 [お気に入りプラン] の[プラン設定変更] をクリック
- 4 [ディスプレイの電源を切る] で省電力になるまでの時間を設定する

各部の名称	31
Touch tool	33
設定メニュー	39
映像調整用ソフトウェア(アナログ)	44
ネックを取り外す	45
VESAアームを取り付ける	46
用語解説	47
ハードウェア仕様	48

設置する

タッチパネル設定

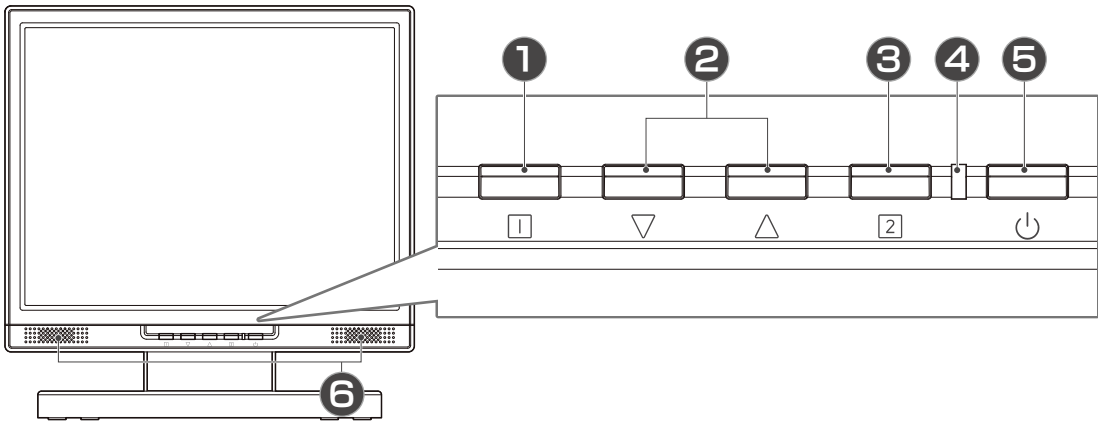
ディスプレイ設定

付録

困ったときには

各部の名称

前面



① □	設定メニューを表示/キャンセルします。 ※ 設定メニューが表示されていないときに3秒間押し続けると、設定メニューをロック/ロック解除します。
② ▽△	設定メニュー上で、項目を選んだり、値を増減します。 ※ 設定メニューが表示されていないときには、音声・輝度設定を開きます。
③ ②	アナログ/デジタル入力の切替や設定メニューの決定などに使います。 ※ 3秒間押し続けると、映像の位置を自動調整します。(アナログのみ)
④ 電源ランプ	電源オフ時：消灯 電源オン時：緑色 ■ 節電状態時：橙色 ■ または 消灯※ ※ 設定メニュー内の「自動電源オフ」が[手動復帰] または[自動復帰] の場合は、一定時間信号が入力されないと消灯します。
⑤ ㊦	電源をオン/オフします。
⑥ スピーカー	音声を出力します。

設置する

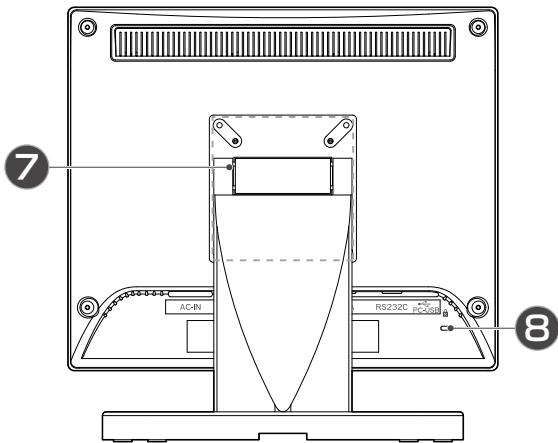
タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

背面



7 VESA ネジ穴	VESA アームなどを取り付けることができます。 【VESAアームを取り付ける】(46ページ) 参照
8 盗難防止ホール	市販のセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

Touch tool

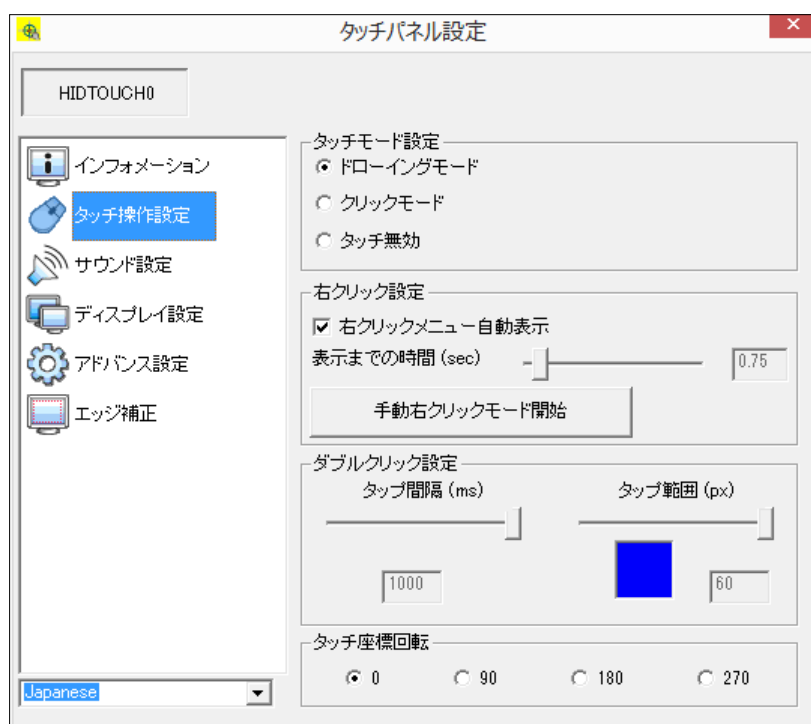
▶インフォメーション	33
▶タッチ操作設定	34
▶サウンド設定	35
▶ディスプレイ設定	36
▶アドバンス設定	37
▶エッジ補正	38

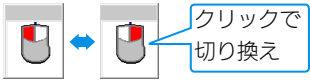
インフォメーション



項目	説明
アプリケーション情報	アプリケーションのバージョンを表示します。
ファームウェア情報	タッチ機能のファームウェアバージョンを表示します。
インターフェース	パソコンと接続している端子を表示します。
ディスプレイ	ディスプレイの割り当て番号を表示します。 【タッチ操作を割り当てる(マルチディスプレイ時)】(11ページ)
ドローイングテスト	自由線を引き、タッチ位置を確認できます。
タッチ位置補正(9点)	タッチ位置を補正できます。 【タッチ位置を補正する】(13ページ)

タッチ操作設定



項目	説明	
タッチモード	ドローイングモード	通常のタッチ操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・長押しによる右クリックメニュー表示 ・ドラッグアンドドロップ ・線の描画 など
	クリックモード	タップのみできます。長押しは認識されません。
	タッチ無効	タッチ操作を受け付けません。
右クリック設定	右クリックメニュー自動表示	「表示までの時間」で設定した時間だけ長押しすると、右クリックメニューが表示されます。
	手動右クリックモード開始/終了	クリックして手動右クリックモードを開始すると、マウスウィンドウが表示されます。 マウスウィンドウはクリックするたびに、「左クリック」⇄「右クリック」と切り換わります。タップは、マウスウィンドウの状態のクリック操作になります。このボタンをもう一度クリックすると、手動右クリックモードは終了です。 
ダブルクリック設定	タップ間隔	ダブルクリックとして認識されるタップ間隔を設定します。
	タップ範囲	ダブルクリックとして認識されるタップの範囲を設定します。
	ボックス	タップ範囲を表します。ダブルクリックすると、色が■⇄■で変化します。
タッチ座標回転	ディスプレイを回転させた時など、タッチ座標も合わせて回転できます。	

▶ 右クリック・ダブルクリックを設定する

15

設置する

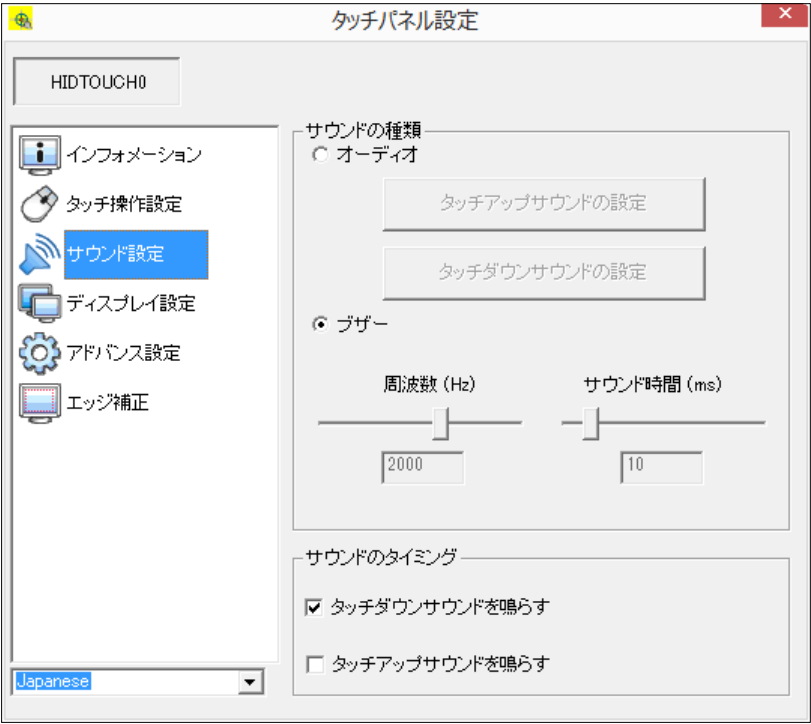
タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

サウンド設定



項目		説明	
サウンドの種類	オーディオ	タッチアップサウンドの設定	タッチした際の音をWAVファイルで設定します。
		タッチダウンサウンドの設定	タッチし、手を離れた際の音をWAVファイルで設定します。
	ブザー	周波数	ブザー音を設定します。
		サウンド時間	ブザーが鳴る時間を設定します。
サウンドのタイミング	タッチダウンサウンドを鳴らす		タッチした際に、音を鳴らします。
	タッチアップサウンドを鳴らす		タッチし、手を離れた際に、音を鳴らします。

▶タッチ音を設定する

16

設置する

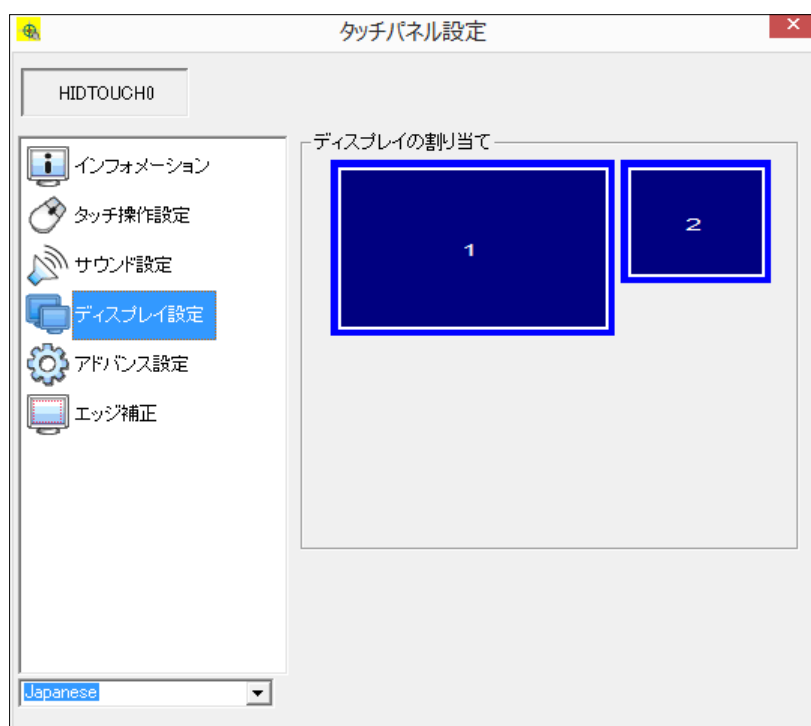
タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

ディスプレイ設定

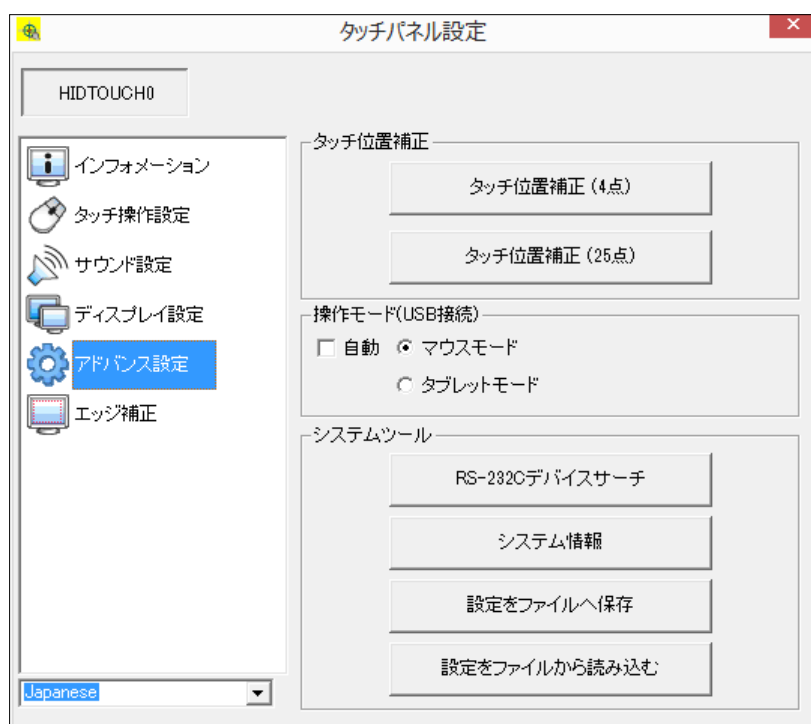


設置する

タッチ
パネル
設定ディス
プレイ
設定付
録困
った
とき
には

項目	説明
ディスプレイ の割り当て	設定中のタッチ操作を、ディスプレイに割り当てます。 クリックすると、該当のディスプレイに数字と案内が表示されるので、タッチします。 【タッチ操作を割り当てる(マルチディスプレイ時)】 (11 ページ)

アドバンス設定



設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

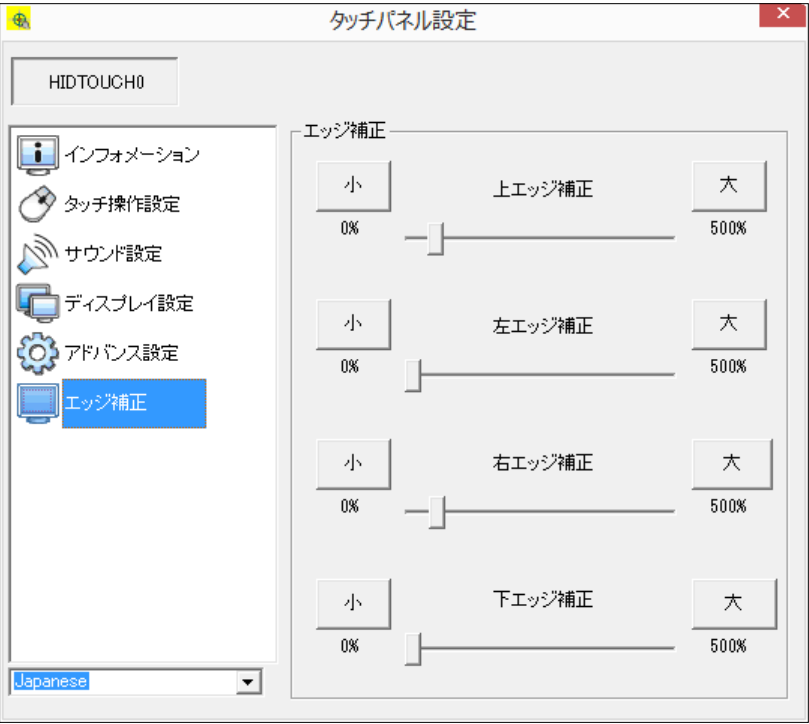
付録

困ったときには

項目	説明	
タッチ位置補正	タッチ位置補正 (4点)	4点のタッチでタッチ位置を補正します。
	タッチ位置補正 (25点)	25点のタッチでタッチ位置を補正します。
操作モード (USB 接続) ※	自動	OSがタブレット操作に対応しているかを判定し、「マウスモード」「タブレットモード」を自動的に切り換えます。
	マウスモード	左/右クリック、ドラッグのみ操作できます。
	タブレットモード	マウスモードに加え、フリック等の操作ができます。
システムツール	RS-232C デバイスサーチ	RS-232C ケーブルを抜き差しし、タッチ操作が認識されなくなった場合、この機能でタッチ操作を検出できます。 ※ インストール時に「Install RS232 driver」にチェックする必要があります。
	システム情報	システム情報を表示します。
	設定をファイルへ保存	設定中のタッチ操作に関するTouch toolの設定をファイルに保存します。 ※ 保存される設定： タッチ位置補正結果、右クリック設定、タッチ座標回転、ディスプレイ設定、操作モード (USB 接続)、エッジ補正、ディスプレイの割り当て番号 ※ ファイルへ保存される設定は、現在設定中のタッチ操作に関するもののみです。複数の本製品をお使いの場合、ご注意ください。
	設定をファイルから読み込む	ファイルに保存した設定を、設定中のタッチ操作へ読み込みます。 ※ 読み込まれた設定内容は、現在設定中のタッチ操作のみに反映されます。複数の本製品をお使いの場合、ご注意ください。

※ RS-232C でパソコンとつないだ場合、「操作モード (USB 接続)」の設定にかかわらず「マウスモード」になります。

エッジ補正



項目	説明
エッジ補正	ディスプレイ端付近のタッチ位置に補正をかけ、該当する辺の画面端をタッチしやすくします。 ※ 補正を大きくするほど、タッチが実際押した位置よりも端へと補正されます。

▶端をタッチできるように設定する

14

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

設定メニュー

▶映像設定	39
▶メニュー設定	40
▶その他	41
▶手動調整	42
▶ダイレクト設定メニュー	43

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

映像設定



項目	説明
ECO	[オン] にすると、「輝度」が「ECO ステップ」に変わります。
輝度	画面の輝度を調節します。
ECO ステップ	削減したい消費ワット数を基準に、画面の輝度を調節します。 ※ 「ECO」が[オン] の時だけ、「輝度」の代わりに表示されます。
コントラスト	画面のコントラスト(明暗比) を調節します。
色温度	画面の色温度を設定します。
sRGB	IEC(国際電気標準会議)が策定した色空間の国際標準規格に設定します。
ユーザー	赤/緑/青の各色を調節します。

▶輝度・コントラストを設定する	22
-----------------	----

メニュー設定



項目	説明
表示時間	操作していないときに設定メニューが消えるまでの秒数を設定します。
透過	設定メニューの背景を透過します。
画面情報	[オン] にすると、入力信号が変化した時、画面右上に「入力信号」「解像度」「水平／垂直周波数」を表示します。
言語	設定メニューの言語を設定します。

設置する

タッチパネル設定


ディスプレイ設定

付録

困ったときには

その他



項目	説明
スムージング	パソコン側で設定した解像度が、本製品の最大表示解像度より低い場合、画面上の文字がにじむことがあります。 その場合、スムージング調整をします。 ※ 最大解像度で表示している場合は、設定できません。
自動電源オフ	本製品への映像入力が止まった場合の動作を設定します。
手動復帰	省電力モードに入り、一定時間が経過したら、電源をオフにします。 ※ 電源をオンにするためには、  を押します。
自動復帰	省電力モードに入る際、LEDも消灯します。 ※ 映像入力された場合、自動的に画面表示されます。
切	省電力モードに入ります。 ※ 映像入力された場合、自動的に画面表示されます。
リセット	出荷時の設定に戻します。 ※ [言語] と [色設定] - [ユーザー] の設定は、元に戻りません。

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

手動調整



項目	説明
サイズ	画面の水平幅を調整します。 ※ 垂直幅は調整できません。
微調整	画面ノイズを低減し、鮮明度を調整します。
水平位置	画面の水平方向の位置を調整します。
垂直位置	画面の垂直方向の位置を調整します。

▶映像を調整する(アナログ) 24

設置する

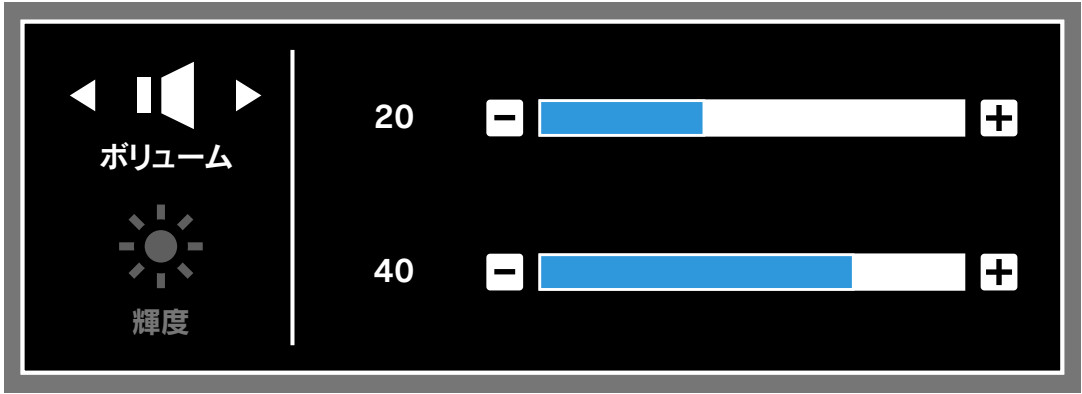
タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

ダイレクト設定メニュー



項目	説明
ボリューム	音量を調節します。
輝度	画面の輝度を調節します。
ECO ステップ	削減したい消費ワット数を基準に、画面の輝度を調節します。 ※「ECO」が[オン]の時だけ、「輝度」の代わりに表示されます。

▶音量を調節する

20

映像調整用ソフトウェア (アナログ)

「LCD調整ユーティリティ」を使うと【映像を調整する(アナログ)】(24ページ)をより効果的にこなうことができます。

映像調整は、アナログ入力時のみ有効です

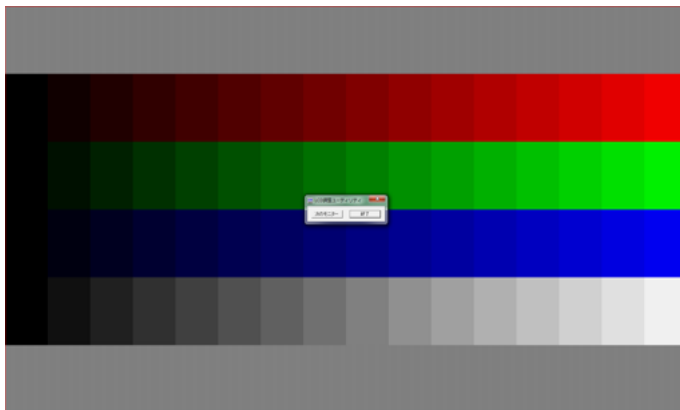
DVI (デジタル) で入力した場合は設定の必要はありません。

ダウンロードする

- 1 以下の弊社ホームページを開く
<http://www.iodata.jp/r/4157>
- 2 ご利用のOSを選んで、ダウンロードする

実行する

- 1 ダウンロードした「LCDTOOL.EXE」ファイルをダブルクリック
⇒以下の画面が表示されます



- 2 本製品上に画面を表示する
※ マルチディスプレイ環境の場合、[次のモニター] をクリックできます。
本製品上に手順1で表示させた画面を表示してください。
- 3 【自動で調整する】(24ページ) や【手動で調整する】(25ページ) をする

ネックを取り外す

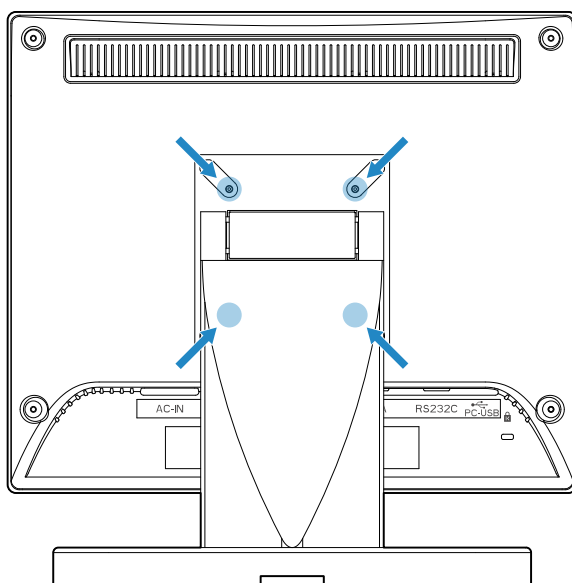
必要に応じてネックを取り外すことができます。

ご注意：取り外す際は、以下に注意する

- 手や指をはさまない
- 液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしない
- ディスプレイ部(表示面)を手で強く押さえない
液晶パネルが故障または破損する恐れがあります。

1 机などの平らなところに柔らかい布などを敷き、パネル面を下にして本製品を置く

2 ネックのネジを**4か所**外し、ネックを取り外す



下側のネジを外す際のコツ

ディスプレイ本体と垂直になるようにネックを立ててから作業してください。

ご注意：取り外したネジ・ネックについて

- **再びネックをつける際は、ネジをしっかりと締める**
取り外したネジ・ネックは別途袋などに入れ、大切に保管してください。
取り付け方法については、この手順[[【ネックを取り外す】\(45ページ\)](#)]を参考にしてください。
- **ネックを取り付けずに、取り外したネジを留めない**
故障の原因となります。

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

VESA アームを取り付ける

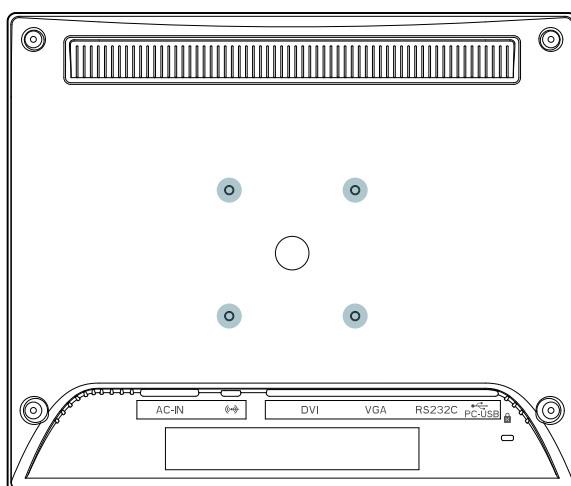
必要に応じて足を取り外し、VESA規格に準拠した市販のアームなどの固定器具を取り付けることができます。アームやアーム取り付け用ネジは別途ご用意ください。

ご注意：取り付けの際は、以下に注意する

- 手や指をはさまない
- 液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけない
- ディスプレイ部(表示面)を手で強く押さえない
液晶パネルが故障または破損する恐れがあります。

1 ネックを取り外す(45ページ)

2 4か所のネジ穴を利用して、**別途用意した**固定器具を取り付ける



固定器具について

- 固定器具は本製品の質量に耐えられる75mmピッチのものをご用意ください。
本製品の台座を除いた質量については、[【ハードウェア仕様】\(48ページ\)](#)をご覧ください。
- 固定用のネジは、「M4 × 10mm」のものをご用意ください。
- 取り付け方法については、固定器具の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意：固定器具の取り付けについて

80～100N・cm(8～10kgf・cm)の締付けトルクで、ネジを締めてください。

用語解説

液晶ディスプレイに関する一般的な用語を解説します。

用語	解説
DPM	「Display Power Management」の略。 VESA (Video Electronics Standards Association) が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御するための規格。省電力機能は、ディスプレイの水平／垂直同期信号を制御することで省電力モードに入ったり復帰したりします。
OSD	「On Screen Display」の略。 ディスプレイの設定画面を画面の一部に表示して操作する機能。 本製品では、OSDを使っていろいろな設定をおこなうことができます。
sRGB	液晶ディスプレイやパソコンでは[RGB]、プリンターなどのカラー印刷では[CMYK]という方式でそれぞれ色を表現していますが、色によっては両者で違って見えることがあります。このような問題に対処するため、両者での色がほぼ同じになるような方式として考案された国際規格です。 [sRGB] 設定は6500K 相当です。
TFT 液晶	「Thin Film Transistor」の略。アクティブ・マトリックス型液晶の一種。 液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ(TFT)で制御します。 現状、他の液晶技術(STN,DSTNなど)に比べ、品質面では最も優れています。
色温度	9300Kの発色は鮮やかですがやや青白く感じられます。 6500Kは昼光色とも呼ばれ自然な白色が表現できる設定となります。 7200Kはこれらの中間の設定となります。
スケーリング	液晶パネルは最適に表示できる解像度が決まっています(表示に最適な解像度は【ハードウェア仕様】(48ページ)内の【各接続端子の最大解像度】の項目を参照してください)。 パソコンから入力される映像信号が表示に最適な解像度でない場合、画像を液晶画面全体に表示させるために、液晶ディスプレイによって拡大処理(スケーリング)がおこなわれます。スケーリングがおこなわれることにより、画面に表示されている映像の輪郭が、かくばったりぼやけたりして見えます(スケーリングがおこなわれていないと、液晶画面全体に画像が表示されません)。
スムージング	スケーリングによって発生する、輪郭のギザギザを、なめらかに表示するための設定です。
走査線周波数	ディスプレイはドットの集まりです。ブラウン管のディスプレイでは、左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。 「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり画像が表示されるという意味です。 走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。 走査周波数を低くすると画面のチラツキが目立つようになります。 逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。
ドット	文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。 パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。
フリッカーレス	LEDバックライトの点滅・ちらつき(フリッカー)をなくすための技術です。 従来の一般的な液晶ディスプレイでは、LEDバックライトの輝度を調節するために、LED自体を高速に点滅させています。 それに引き換え、「フリッカーレス」では、LEDを高速に点滅させずに輝度を調節しています。 画面のちらつきを感じさせず、長時間使用による眼への負担を軽減するとされています。

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

ハードウェア仕様

ハードウェア仕様

タッチパネル	入力方式	抵抗膜方式
	通信方式	USB 2.0 (FullSpeed)、 RS-232C (ポート設定:9,600bps、8データビット、パリティなし、1ストップビット)
	透過率	78% (Typ)
	タッチ耐久性	1000万回
液晶パネル	パネルタイプ	TFT15型LED / 非光沢パネル
	最大表示解像度	1024 × 768
	画素ピッチ (mm × mm)	0.297(H) × 0.297(V)
	表示面積 (mm × mm)	304.128(H) × 228.096(V)
	最大表示色	1619万色(擬似フルカラー)
	視野角度	上下:130° 左右:160°
	最大輝度	234cd/m ²
	コントラスト	700:1
	応答速度	8ms
水平走査周波数 (kHz)		24.8 ~ 60.2kHz
垂直走査周波数 (Hz)		56.2 ~ 75.0Hz
映像入力端子		アナログRGB、DVI-D (HDCP対応)
音声入出力	音声入力	ステレオミニジャック φ3.5
	スピーカー	1W+1W(ステレオ)
	フォン端子	—
定格電圧		AC100V 50/60Hz
消費電力	最大時	12W
	通常使用時(オンモード)	8.2W
	待機時	0.5W
パワーマネージメント		VESA DPM互換
プラグ&プレイ		VESA DDC2B
チルト角/スイベル角		上:88° 下:-5° / —
高さ調節		—
VESAマウントインターフェイス		O(75mmピッチ)
盗難防止用ホール		O
外形寸法 (W × D × H)	台座あり	339 × 180 × 343(mm)
	台座なし	339 × 55 × 287(mm)
質量	台座あり	4.5kg
	台座なし	3.0kg
使用温度条件		0°C ~ 50°C
使用湿度条件		20% ~ 80% (結露なきこと)
各種取得規格・法規制		VCCI Class B、UL、J-Mossグリーンマーク、RoHS指令準拠、文部科学省 学校環境衛生基準、PCグリーンラベル(Ver.13 ★★☆☆)
保証期間		3年間

※外観及び仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示面上に減点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります

これは、液晶パネル自体が99.999%以上の有効画素と0.001%未満の画素欠けや輝点をもつことによるものです。

故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

解像度および周波数

●信号タイミング

つなぐパソコンが表示モードに対応しているかご確認ください。

対応パソコン	表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	アナログ	デジタル
PC-9800シリーズ	640 × 400	24.8	56.4	○	-
	720 × 400	31.5	70.1	○	○
Apple Mac	Windows 搭載 パソコン	640 × 480	31.5	○	○
			37.9	○	○
			37.5	○	○
		800 × 600	35.2	○	○
			37.9	○	○
			46.9	○	○
			48.1	○	○
		1024 × 768	48.4	○	○
			56.5	○	○
			60.0	○	○
		640 × 480	35.0	○	-
		832 × 624	49.7	○	-
		1024 × 768	60.2	○	-

※ パソコンからの信号はすべてノンインタレースである必要があります。

※ Macでアナログ接続ケーブルを使う場合は、別途市販の変換アダプターが必要になる場合があります。

※ コンポジットシンク、シンクオングリーンには対応しておりません。

●各接続端子の最大解像度

接続端子	アナログRGB	DVI-D
最大解像度	1024 × 768 (60Hz)	1024 × 768 (60Hz)

設置する

タッチ
パネル
設定

ディス
プレイ
設定

付
録

困
った
と
き
に
は

困ったときには

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

パソコンをアナログ(VGA) でつないでいるが、「ゆらぎ」や「ちらつき」が見える

[【映像を調整する\(アナログ\)】 \(24ページ\)](#) をご覧になり、「自動調整」や「手動調整」をお試してください。

文字がにじんで見える

ご利用用途に差し支えない限り、液晶ディスプレイの最大表示解像度([【ハードウェア仕様】 \(48ページ\)](#))でご確認ください) に応じた数値で、パソコン側の設定をおこなうことを、強くおすすめいたします。これにより、文字のにじみを軽減することができます。

にじみの原因

パソコン側で設定している解像度が、液晶ディスプレイの最大表示解像度よりも低い場合、文字が拡大して表示されます。拡大されることで、文字がにじんで見えることがあります。

スピーカーから音が出ない

- パソコンをVGA でつないでいる場合
パソコンの音声出力と本製品のオーディオケーブルでつないでください。
- パソコン側の音量設定を確認してください。

ネック(足) を取り外したい

[【ネックを取り外す】 \(45ページ\)](#)、[【VESAアームを取り付ける】 \(46ページ\)](#) をご覧ください。

タッチしても反応しない

- パソコンとつないでいるケーブル(USBまたはRS-232C) がしっかりとつながっているか確認してください。
- [【インストールする】 \(10ページ\)](#) をご覧になり、再度タッチパネルドライバーと設定ツールをインストールしてください。

タッチ位置がずれる

[【タッチ位置を補正する】 \(13ページ\)](#) をご覧ください。

画面の端をタッチできない

[【端をタッチできるように設定する】\(14ページ\)](#) をご覧ください。

タッチの音を変えたい・消したい

[【タッチ音を設定する】\(16ページ\)](#) をご覧ください。

設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- [困ったときには\(50ページ\)](#)を参照
- サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

<http://www.iodata.jp/r/4869>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3019

※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日をのぞく)

FAX：076-260-3360

インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

＜ご用意いただく情報＞

製品情報(製品名、シリアル番号など)、パソコンや接続機器の情報(型番、OSなど)

設置する

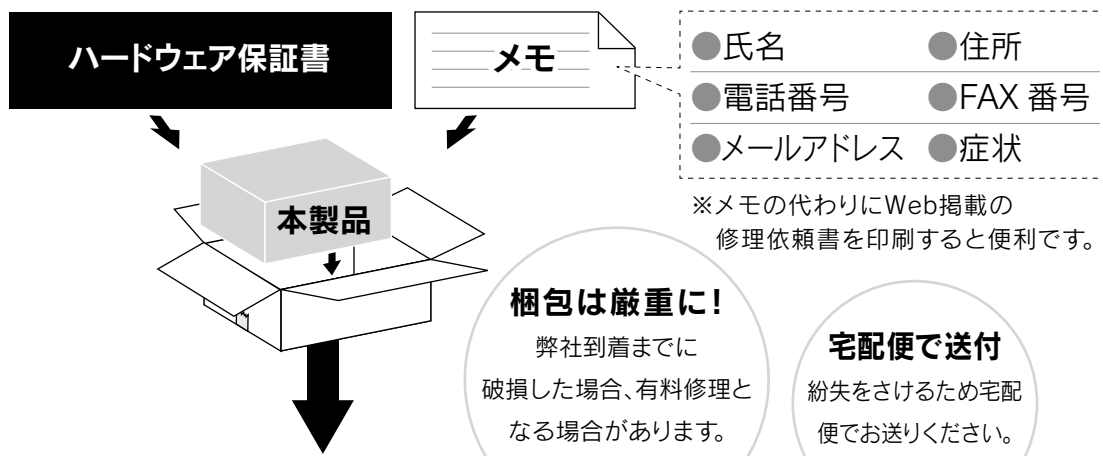
タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

<http://www.iodata.jp/support/after/>



個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（<http://www.iodata.jp/privacy.htm>）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



設置する

タッチパネル設定

ディスプレイ設定

付録

困ったときには